



No.147
2026.5

議会
かわら版
~ gikai newspaper ~



令和8年
第1回
定例会

令和8年度予算等の審議・可決
代表質問・一般質問

-代表質問-

- ・市民クラブ 平野 義文 議員
- ・新緑風会 石黒 武美 議員
- ・民優会 大和 勝 議員
- ・公明党 齊須 正友 議員
- ・日本共産党議員団 山田 靖廣 議員

-一般質問-

- ・日本共産党議員団 上田 久司 議員
- ・新緑風会 松本 一郎 議員

TOPICS

- 代表質問、一般質問 P2 ~ P4
- 審議結果 P4 ~ P5
- 予算審査特別委員会 P6
- 議場見学、議員定数等検討委員会 P7
- 南空知4市5町議会議員研修会など P8

くりさわ学舎6年生の皆さんが議場へ!

1月20日、くりさわ学舎6年生19名が岩見沢市議会へ。子どもたちと議員と「共に学ぶ」貴重な機会となりました。

「市議会だより」カラー版はこちらから ➡





市民クラブ
平野 義文



市政運営の基本姿勢と行財政改革について

【質】 岩見沢に備わる価値の整理について

【答】 〔市長〕 市政方針で「住みやすく、暮らしやすい岩見沢」を次世代に引き継ぐと申し上げ、安全安心の確保や産業振興、子育て環境の充実を通じて、誰もが健康でいきいきと暮らせるまちの実現を目指している。その具現化が第6期総合計画における「健康経営都市」であり、人と緑と、まちがつながりともに育み未来をつくる将来像を示している。

岩見沢市は、交通アクセス、農業、子育て環境、ICT、教育機関などを有し、第3期総合戦略ではこれらを強みとして記載している。「健康経営都市」は企業経営の考え方をまちづくりに応用し、心身の健康や社会的つながり、生きがいを含むウェルビーイングの社会の実現を目指す。

また、総合戦略では人口減少を前提としたまちづくりと経済活性化を継続して推進しており、10年後を見据えたバックキャストイングにより毎年の施策に反映しながら予算編成をしている。

第1期総合戦略の策定後、子育て世代を中心に社会動態は改善し、「選ばれるまち」へと認知されている。さらに、「ICT」「子ども・子育て」「交通アクセス」「健康経営都市」「農業」「芸術文化・スポーツ」の6分野を強みとし、関連する様々な施策にバランスよく取り組んでいる。



新緑風会
石黒 武美



市立総合病院と北海道中央労災病院との経営統合について

【質】 現在の労災病院の外来患者数及び入院患者数について

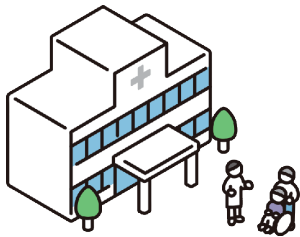
【答】 〔市長〕 労災病院における本年2月の患者数について、1日当たりの平均で言うと、外来は約226人、入院は約35人である。

【質】 統合後の外来と入院患者の見込数について

【答】 令和8年度の外来・入院の患者数については、外来延べ患者数で24万8千169人（1日当たり1千29人）、入院延べ患者数で12万5千744人（1日当たり344人）を見込んでいる。

【質】 労災病院から市立病院へ移行する職員数と人件費について

【答】 統合時に労災病院から移行する職員数は、現時点で医師10人、看護職77人、医療技術職41人、事務職等19人の合計147人となり、移行する職員に係る令和8年度予算における人件費として約11億7千万円を計上したところである。



民優会
大和 勝



令和8年度予算編成の評価と 枠配分方式の効果について

【答】 〔市長〕 令和8年度予算は、人件費・扶助費・公債費などの義務的経費に加え、施設維持管理費や委託料などの経常的経費も、物価や労務単価の上昇等により増加する中で編成された。一方で、市税や地方交付税などの歳入の伸びは歳出増を十分に賄えず、歳出削減に努めても前年並みの収支ギャップが生じるなど、厳しい財政状況が続いている。

このため、「選択と集中」により経常的経費の圧縮や新病院建設に伴う財政負担も見据え、投資的経費の抑制に努め、市債残高の縮減と公債費負担の軽減に取り組んでいる。

一方で、重点施策には積極的に予算を配分し、物価高騰対策としては、昨年12月以降、高齢者世帯等への支援や水道料金減免、一人5千円の給付に続き、新年度予算におけるプレミアム商品券の発行支援へと切れ目なく取り組む。また、子育て・教育分野では5歳児健診やこども誰でも通園制度の開始、小学校の給食費の完全無償化、くりさわ学舎の新校舎基本設計などを進める。

さらにGXの推進として公共施設の省エネ化や設備改修、LED化支援を行い、市民生活の質向上と地域経済活性化を図る。加えて「枠配分方式」の導入により、約1・9億円の節減が図られるとともに歳出削減に対する全庁的な意識醸成にもつながった。今後も検証と見直しを行いながら定着を図る。



公明党

齊須 正友



「みんなが健康で元気に暮らせる
まちづくり」について

質 視覚障がい者向けアプリの導入について

答 〔市長〕 視覚障がい者向けアプリ「ナビレンス」は、大阪・関西万博の会場内における案内に使用されたほか、一部の自治体では市役所や図書館、美術館等に専用のタブを設置し、視覚障がい者の移動に役立てるとともに、情報保障のツールとして広報誌にホームページアクセス用のタブを掲載している例もある。ナビレンスをはじめ、視覚障がい者も使える様々なアプリが日々開発されており、これらのデジタル技術を活用することは、障がいのある方の日常生活における利便性を高めるものと考えているが、当市での導入については、実際にアプリを使用する視覚障がい者の意見を聴き、先行自治体における導入効果やコストも踏まえ、検討していく。

質 新病院建設工事の進捗状況について

答 新病院の建設工事は、昨年9月に大成建設株式会社札幌支店を代表者とする異業種特定建設工事共同企業体との間で、令和10年9月までを工期とする工事請負契約を締結し、11月から着工した。本年1月末までに杭の打設工事を完了し、2月からは基礎工事に入っており、現在のところ予定どおりに工事が進んでいる。令和8年度は基礎工事のほか、地下部分の躯体工事や免震装置の設置などを行い、地上部分の躯体工事は令和9年度以降に実施する予定であり、令和10年秋の開院に向けて着実に推進していく。



日本共産党議員団

山田 靖廣



女性相談支援員を配置する取組について

質 配置に至った経緯について

答 〔市長〕 令和6年4月に施行された、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」により、女性相談支援員の配置が努力義務とされている。本市においても、相談内容が複雑化・多様化・複合化している現状を踏まえ、より専門的かつ継続的な支援体制が必要であると判断するとともに、第3次いわみざわ男女共同参画実践プランの中間見直しに合わせ、「困難な問題を抱える女性への支援体制の充実」を施策として位置付け、女性相談支援員を配置したいと考えている。

質 幅広い年代や様々な困難への対応について

答 年齢や置かれている状況により課題が多様であることから、個々の状況に応じたきめ細かな対応が必要である。具体的には、女性のDVや性被害、経済的困難や社会的孤立など、それぞれ年代ごとに異なる課題がある。ひとつの窓口だけで完結するものではなく、福祉、子育て支援、生活困窮支援、就労支援などの窓口に加え、必要に応じて警察などの関係機関とも連携を図る必要があることから、今年度より新たに支援調整会議を実施し、安全確保を含めた継続的な支援を行うこととしている。



日本共産党議員団

上田 久司



新市立病院への交通アクセスについて

質 コミュニティバスやデマンド交通も含めた対応が必要ではないか

答 〔市長〕 新病院への交通アクセスの向上については、基本計画や基本・実施設計段階におけるパブリックコメントなどを通じて要望が多かったことから、新病院の開院までに取り組みなければならない課題の一つと認識している。先月策定した「若見沢地域公共交通計画」においても、市民の暮らしを支える公共交通の維持に向け、新病院への移転に伴う新たな通院需要を踏まえた交通アクセスの確保を図ることとしている。

これまでは、新病院の建設地である北海道中央労災病院用地にアクセスする路線バスを運行している北海道中央バス株式会社との間で、国道12号から敷地内へ乗り入れする際の傾斜に必要なロードヒーティングや、正面玄関前に設置を予定しているロータリーなど、路線バスの乗り入れが可能となるハード面の要件について優先的に協議してきた。

今後においては、敷地内に乗り入れるバス路線や便数などの具体的な協議を行うが、路線バス事業者を取り巻く厳しい環境も踏まえながら、開院時における利用しやすい運行ダイヤや必要便数の確保に向けて、交通事業者と市の関係部局が連携し、運行形態も含めた様々な可能性について検討を行っていく。



新緑風会

松本一郎



幌向線バス路線廃止によるJR駅への影響

質 幌向駅の利用者増加・駅前周辺整備と駅構内の安全性・利便性の確保について

答 【市長】 中央バス幌向線廃止後のJR駅への影響については、バスの利用者は1日平均50人程度であり、鉄道利用にシフトした場合でも、駅の利用者数は大きく変わらないものと想定している。幌向地区内の移動手段については地域と協議を進めており、その実現により高齢者や障がいのある方などにとっても利便性が高まるものと考えている。駅周辺の送迎スペースは南側に整備済みであり、駐車場整備は市独自の整備は難しいが、必要に応じニーズの把握に努めていく。

質 幌向駅のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化について

答 幌向駅のエレベーター設置については、JR北海道の設置基準を満たしていなかったことや維持管理の負担などから、スロープを設置することで対応し、供用後においても、地域と協議を行いながら、施設の定期的な点検や修繕を通じて、利用者の安全性や利便性の向上に努めている。バリアフリー法の設置基準である1日当たり利用者数3千人に対し、幌向駅の直近の利用者数は1千676人であり、設置基準を満たしていない。今後はバリアフリー法の基準改正など国の動向を注視するとともに、JR北海道と連携を図りながら、エレベーター設置の可能性について引き続き検討していく。

令和8年第1回臨時会（1月14日）審議結果

○物価高騰対策の予算を増額することについて審議

議案番号	件名	審議結果
議案第1号	令和7年度岩見沢市一般会計補正予算について(第7号)	原案可決

令和8年第1回定例会（3月2日▶3月24日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
令和7年請願第1号	学校給食費の値上げ反対・無償化について	不採択
令和7年請願第2号	ごみ処理手数料の値上げ撤回について	//
議案第2号	岩見沢市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について	原案可決
議案第3号	岩見沢市旧美流渡中学校交流館条例の設定について	//
議案第4号	岩見沢市分限、懲戒及び勤務条件に関する条例及び岩見沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	//
議案第5号	岩見沢市職員の定年等に関する条例の一部改正について	//
議案第6号	一般職員の給与に関する条例の一部改正について	//
議案第7号	職員の旅費支給に関する条例等の一部改正について	//
議案第8号	岩見沢市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第9号	岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について	//
議案第10号	岩見沢市多目的研修集会施設等条例及び岩見沢市多目的研修集会施設等条例の一部を改正する条例の一部改正について	//
議案第11号	岩見沢市火入れに関する条例の一部改正について	//
議案第12号	岩見沢市道路占用料条例の一部改正について	//
議案第13号	岩見沢市水道事業給水条例等の一部改正について	//
議案第14号	岩見沢市栗沢工芸館条例の廃止について	//
議案第15号	岩見沢市過疎地域持続的発展市町村計画の策定について	//
議案第16号	上幌向地区多目的研修会館の指定管理者の指定について	//
議案第17号	令和8年度岩見沢市一般会計予算について	//
議案第18号	令和8年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について	//
議案第19号	令和8年度岩見沢市特別会計公共用地等造成費予算について	//
議案第20号	令和8年度岩見沢市特別会計公設卸売市場費予算について	//
議案第21号	令和8年度岩見沢市特別会計高等学校費予算について	//
議案第22号	令和8年度岩見沢市特別会計企業用地造成費予算について	//
議案第23号	令和8年度岩見沢市特別会計介護保険費予算について	//

議案番号	件名	審議結果
議案第 24 号	令和 8 年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費予算について	原案可決
議案第 25 号	令和 8 年度岩見沢市病院事業会計予算について	//
議案第 26 号	令和 8 年度岩見沢市水道事業会計予算について	//
議案第 27 号	令和 8 年度岩見沢市下水道事業会計予算について	//
議案第 28 号	令和 7 年度岩見沢市一般会計補正予算について (第 9 号)	//
議案第 29 号	令和 7 年度岩見沢市特別会計国民健康保険費補正予算について (第 2 号)	//
議案第 30 号	令和 7 年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について (第 4 号)	//
議案第 31 号	令和 7 年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費補正予算について (第 2 号)	//
議案第 32 号	令和 7 年度岩見沢市病院事業会計補正予算について (第 1 号)	//
議案第 33 号	令和 7 年度岩見沢市水道事業会計補正予算について (第 1 号)	//
議案第 34 号	常勤監査委員の選任について 【永井 亘 氏】	同意
議案第 35 号	教育委員会の委員の任命について 【南部 博明 氏】	//
議案第 36 号	公平委員会の委員の選任について 【田原 美幸 氏】	//
議案第 37 号	公平委員会の委員の選任について 【出口 智 氏】	//
意見書案第 1 号	生産現場に寄り添った農業政策について	原案可決
決議案第 1 号	閉会中の所管事務調査について	//

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第 1 回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 日本国憲法の尊重・擁護について
- 生産現場に寄り添った農業政策を求める意見書について

各議員の議案に対する賛否の状況（賛否の分かれたもの）

議員名	市民クラブ											新緑風	民優	公明	共産								
	平野 義文	伊澤 幸信	武田 貞行	木村 光宏	枝廣 晴基	新井 優也	坂井 秋子	豊岡 義博	野尻 清	宮下 透	峯 泰教	石黒 武美	河合 清秀	太田 博之	松本 一郎	大和 勝	日向 清一	坂井 照美	齊須 正友	猪口 満雅	上田 久司	山田 靖廣	
令和 7 年 請 1) 学校給食費の値上げ反対・無償化について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
令和 7 年 請 2) ごみ処理手数料の値上げ撤回について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
議 9) 岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 17) 令和 8 年度岩見沢市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 18) 令和 8 年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 24) 令和 8 年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

請願に対する討論

令和 7 年 請願第 1 号 学校給食費の値上げ反対・無償化について

賛 成

給食費は家計負担が大きく、物価高騰下での大幅値上げは子育て世帯に大きな影響を与える。各地で無償化が進み、本市でも小学生の無償化が予定されていることから、子育て支援や定住促進の観点でも、値上げをやめ、中学生の無償化実施を求める本請願は妥当であり、採択すべきである。

反 対

給食費は物価高騰下でも給食の質と量を維持しながら保護者負担の軽減を図ってきた。令和 8 年度からは国の制度を活用し小学生は無償化を実施し、中学生も物価高騰による不足分を市が補填して負担軽減を図る。厳しい財政状況の中、安定的な給食提供には改定は避けられず、本請願は採択すべきではない。

令和 7 年 請願第 2 号 ごみ処理手数料の値上げ撤回について

賛 成

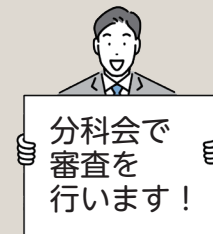
ごみ処理手数料の大幅値上げにより、負担増に対する市民の声が届いている。費用増加分が市民に転嫁されている側面があり、他の値上げと重なり負担は大きい。まずは減量化や資源化の徹底を図り、値上げによらない対応で市民負担軽減を図るべきであることから本請願は妥当であり、採択すべきである。

反 対

ごみ処理費用は物価や人件費の上昇により増加しており、現行負担では将来への先送り懸念される。安定的な処理には減量化の推進と負担の公平性確保が必要である。料金改定は国の水準や市民意見を踏まえた適切なものであり、持続可能な体制維持の観点から、本請願は採択すべきではない。

令和8年度 岩見沢市各会計予算案などをチェック

第1回定例会では、令和8年度各会計予算案や関連議案を一層慎重に審査するため、「予算審査特別委員会」が3月12日に設置されました。3月16日～18日の3日間で分科会審査を行い、3月19日の予算審査特別委員会で歳入に係る審査の後、討論・採決を行いました。



一般会計 **485** 億円

前年比 4億円 (0.8%) 増

特別会計 **208** 億 **6** 千万円

前年比 3億8千万円 (1.9%) 増

総務分科会

- Q** カスハラ対策研修の実施内容について。また、カスハラから職員を守るための取組について
- A** カスハラ予防・対応マニュアルの作成及び説明会、正当なクレームとの違い等の研修を実施。職員を守る取組については、カスハラ防止ポスターの掲示、記名章の表記の変更、録音対応などを実施している。
- Q** 中央バスへの補填の考え方や今後の公共交通確保に向けた方向性について
- A** 中央バスへは、赤字額を全て補填することを基本としており、相応の補填額が生じている。なお、同社は市街地をエリアとする唯一最大の事業者で代替は困難であるとの認識のもと、今後の公共交通体系の確保を進めていくことが重要と考えている。

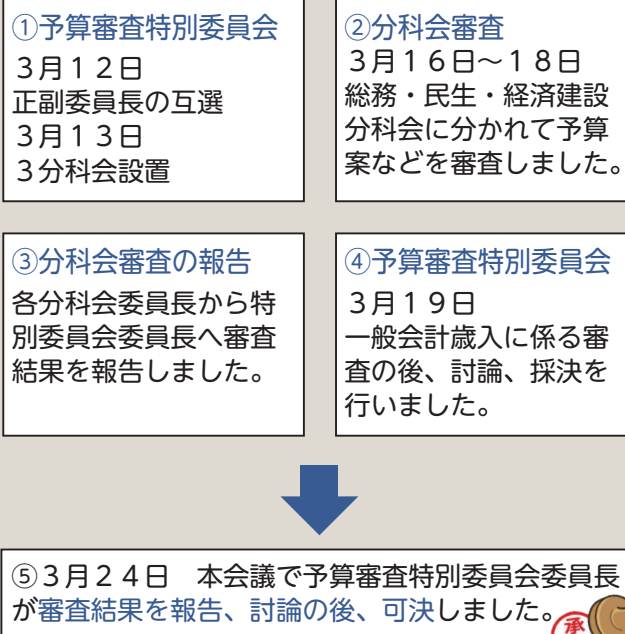
民生分科会

- Q** 新市立病院の入院・外来患者数の増加に向けた取組について
- A** 入院患者数は、回復期リハビリ病棟の前倒し開設やベッドコントロールを行い、確保に努める。外来患者数は、診察室増設や午後枠拡大、駐車場拡充等で利便性向上を図る。また、地域医療連携を推進し、紹介患者の確保に努める。
- Q** 町会会館建築補助金の概要及び令和8年度の変更内容について
- A** 補助金は、会館の新築・改修費の5分の3、解体費の5分の1を交付している。令和8年度は、近年の気候変動や蛍光灯の製造終了に向け、エアコン設置や照明のLED化も対象とし、補助率は5分の3を予定している。

経済建設分科会

- Q** オータムフェスト出店後の市の評価や他市町村との差別化を図るためのブランド戦略について
- A** オータムフェストでは、前年度から販売額が減少したため、十分な成果を得られなかった。ブランド戦略としては、商品の魅力・知名度向上や新商品開発のために関係者と協議を重ねたい。
- Q** 市民からの道路補修の要望に対して、どの程度要望を実現することができるか。
- A** 道路補修は巡回や要望などをもとに現地確認し、判断している。令和7年度は約830件の要望に対し、380件の補修を実施。厳しい財政下でも毎年約4億1千万円の予算を確保し、通行量や安全性を考慮し対応している。

—予算可決までの流れ—



議場見学を 実施しました

～くりさわ学舎6年生～

1月20日、くりさわ学舎6年生19名が議場に来られ、普段はなかなか入ることができないバックヤード見学、市議会の仕組み、市議会〇×クイズなどを通し、市議会や議員の活動について学習する機会となりました。後半は、児童の皆さんの質問に対し、議員それぞれが考えた内容で答えさせていただきました。

なお今年度の主権者共育や議場見学を通じて、11校、400名以上の子ども達とともに、私たち議員も多くを学ぶ機会となりました。児童・生徒の皆さん、担当いただきました先生方に改めて感謝申し上げます。来年度も引き続き、たくさん子ども達と「共に学ぶ機会」とするため尽力してまいります。



～こんな質問をしてくださいました！～

豪雪地帯の岩見沢、除雪の優先順位は決まっていますか？

熊の出没の第一報が入った時、どのような対応をしていますか？

来年度の予算をどのようなことに使おうと考えていますか？

感想を聞いて
みました！



議場に来る前の印象は、「堅苦しい」「難しそう」「何をしている人達かわからない」などの意見が多かったのですが、実施後には、印象が変わった児童が多いように感じました。「また行きたい！」という嬉しい声もいただきました。

ふるさと納税の返礼品として登録されているものが思っていたより多かった。

議会での議員の呼び方や議長の進め方が実際に議会に参加しているような気持ちになりました。

議員になったきっかけが人それぞれで、一番若い人が30歳。若い人も議員になれるとわかった。

資料や写真を使ったりして、議会について詳しく私たちが理解しやすいように教えてくれた。

行く前は緊張したが、意外と楽しかった。これからは地域のことを自分事として考えていきたいと思った。

議会の説明の他にも議場見学やバックヤードツアーなどで、色々な部屋を見学できたことが興味深かった。

～これまでの取組～

1 議長からの諮問を受け、「議員定数等検討委員会」を設置
令和7年7月31日に第1回の委員会を開催
委員長、副委員長、委員6名、合計8名で構成

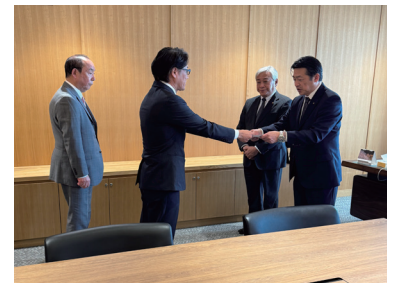
3 市民との意見交換会の開催（広報広聴委員会との合同開催）
↓
参加者より、多様な意見を拝聴
参加者アンケート、他 YouTube で動画公開、Web アンケートを実施

2 各会派で協議実施の後、委員会で報告、協議
〈協議項目〉
1. 議員定数について
2. 議会の活性化について
3. 議員のなり手不足解消について

4 議員定数検討に係る評価シートをもとに、各会派で協議を実施の後、委員会で報告・協議
↓
令和8年3月24日 議長へ答申

議員定数に対する 答申書が提出されました

—議員定数等検討委員会—



議長から諮問を受け、議員定数等検討委員会では、委員会8回、広報広聴委員会との合同委員会3回、市民との意見交換会開催に加え、YouTubeでの動画公開やWebアンケートも実施しながら議論を重ねました。その結果、次期議員定数は現行の22人から1人減の21人が妥当との結論に至り、3月24日に議長へ答申しました。なお、3会派が「21人」とする案を支持し、他に「20人」（1会派）、「22人」（1会派）とする案も示されました。

委員会で重視したのは、人口減少や社会の複雑化が進む中でも、行政監視や多様な民意の反映を担う議会機能とチェック体制を維持することです。あわせて諮問のあった「議会の活性化」「議員のなり手不足の解消」についても協議を重ねました。これからは今後のより良い議会活動につなげてまいります。

議員定数等検討委員会 委員長 平野 義文



答申書の詳細は二次元バーコードよりご覧ください。

南空知4市5町議会議員研修会 を開催いたしました



2月19日、岩見沢市、夕張市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町の議員約100名が岩見沢市生涯学習センター「いわなび」に一堂に会しました。当日は、一般社団法人 地方公共団体政策支援機構 上席研究員 渡辺太樹

氏を講師にお招きし、「議会が行うべき政策議論・政策提言とは何か～データに基づく南空知地区の現状と課題について～」と題した研修会を開催いたしました。研修では、各テーブル4～5名に分かれ、それぞれの市町が抱える現状や課題を出し合い意見交換を行いました。自治体の枠を超えて率直に議論を交わすことができ、大変有意義な機会となりました。

今回実施に至る背景には、令和7年3月、4市5町での「南空知定住自立圏」の形成に関する協定が締結されたこともあり、市町議会としても現状・課題等を共有し共に考え、政策提言へとつなげていくことを目的としております。今後も、広域的な連携を深める研修会を継続してまいります。



南空知定住自立圏…岩見沢市を中心市として近隣市町が医療や福祉、公共交通、産業振興等の様々な分野で相互に役割分担し、連携を図る取組です。

委員会他都市調査に係る議員報告会 を実施いたしました

2月13日、3年目となる他都市調査に係る議員報告会を開催いたしました。4委員会がスライドを活用し、調査の目的や項目、今後の展開等について報告。議員全員で情報を共有するほか、市の担当者にも同席いただき、行政と議会が同じ視点で学びを深める機会となりました。また、終了後に広報



広聴委員会活動報告を実施。活動内容、今後の方向性等について共有いたしました。報告会を通し、委員会として、議員個々として今後の岩見沢のまちづくりにどのように生かしていくかを考える大変意義深い時間となりました。

編集後記

今年の冬は例年に比べ雪が少なく、除排雪の負担が軽かった一方で、雪に関わる仕事や地域経済への影響を心配する声も聞かれました。改めて、岩見沢にとって雪は暮らしと密接に関わる存在であると感じます。

第1回定例会では、新年度の予算や各種事業について活発な議論が行われました。私たち議員一同、市民の皆様の声大切にしながら、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

(木村 光宏)

議会基本条例の検証を行いました

議会基本条例は、市民の負託に応え、市民福祉の向上と市政の発展に寄与することを目的とし定めたものです。議会や議員の様々な活動が条文の目的を果たしているか議論を重ね、この度、検証結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。二次元バーコードよりご覧ください。



議会日誌

- 1月 14日 ・議会運営委員会 ・第1回臨時会
・総務常任委員会 ・民生常任委員会
・経済建設常任委員会
- 20日 ・くりさわ学舎（前期課程）議場見学
- 26日 ・幹事長会議 ・総務常任委員会
・経済建設常任委員会 ・議会運営委員会
- 28日 ・広報広聴委員会
- 30日 ・議員定数等検討委員会
- 2月 3日 ・民生常任委員会
・総務常任委員会
- 12日 ・委員会他都市調査に係る議員報告会
- 13日 ・南空知4市5町議会議員研修会
- 19日 ・議員定数等検討委員会
- 26日 ・議会運営委員会
- 27日 ・議会運営委員会
- 3月 8日 ・各派代表者会議 ・第1回定例会（第1号）
・委員会正副委員長会議 ・広報広聴委員会
- 9日 ・総務常任委員会 ・民生常任委員会
・経済建設常任委員会
- 10日 ・議会運営委員会 ・第1回定例会（第2号）
- 11日 ・第1回定例会（第3号）
- 12日 ・第1回定例会（第4号）
・予算審査特別委員会
- 13日 ・予算審査特別委員会 ・議員定数等検討委員会
- 16日 ・予算審査特別委員会総務分科会
- 17日 ・予算審査特別委員会民生分科会
- 18日 ・予算審査特別委員会経済建設分科会
- 19日 ・予算審査特別委員会
- 23日 ・議員定数等検討委員会
- 24日 ・議会運営委員会 ・第1回定例会（第5号）
・議員定数等に関する答申 ・広報広聴委員会

令和8年第2回定例会は
6月 開会予定です。



議場にてお待ちしております！

お知らせ

いつもご覧いただき誠にありがとうございます。今後の参考とするため、「議会かわら版」への感想を募集いたします。FAX (0126-25-5503)、または二次元バーコードからお待ちしております。



議会広報広聴委員会

- <委員長> 坂井 秋子
- <副委員長> 松本 一郎
- <委員> 新井 優也
木村 光宏
野尻 清
河合 清秀
坂井 照美
猪口 満雅
山田 靖廣